

短期売買手法のまとめ

中原 駿

<1> 反トレンド法（基本的に売りシグナルで解説しているため、買いは逆にすること）

技法名	発明者	エントリーセットアップ	エントリーセットアップ	エントリーセットアップ	利食いポイント	ロスカットポイント	備考
OOPSシグナル (注1)	ラリー・ウィリアムズ	ギャップ(大きいほど望ましい)オープン。	前日の高値を下回る。		ベイルアウト	金額または当日の高値	多くの逆バリシステムの発想のベースとなったシンプル且つ強力な手法。
週間売買シグナル	ラリー・ウィリアムズ	月曜日の窓空け。	同上		TRの60%を金曜日の終値に足す。	前週の高値を3週間、その後は直近2週間の最高値を使う。	OOPSシグナルの週間版。利食いポイントとロスカットポイントは同じ。TR = 「真の変動幅」
「スペシャリストの罠」	リチャード・ウィッコフ	5 - 10日間のもみ合い。	「むき出しの終値」で上放れる。	「むき出しの終値」を形成した日の「真の安値」を2 - 3日中に下回る。		「むき出しの日の高値」または金額	OOPSシグナル同様、反トレンド法の偉大なるスタンダード。ターゲットスープよりも、参入は遅いが効率的で騙しが少ない傾向。
スマッシュ・ディ・リバーサル	ラリー・ウィリアムズ	3日続伸。高値・終値共前日を上回ること。	当日前日の安値を抜けること。	「むき出しの高値」を形成する。	ベイルアウト	金額または前日の高値	「放れ」の失敗をつく。
G S V 逆バリシステム	ラリー・ウィリアムズ	G S V の4日平均の180%を計算し、始値に足す。	価格が出動ポイントに到達。			G S V の225%。	最大変動幅(G S V)。「売り」においては始値から安値を引く。買いは「高値」から始値を引く。
ターゲットスープ	ローレンス・コナーズ	過去20日間の最高値が最低でも4営業日以前に発生していること。	マーケットが最高値を更新した後、 <u>前回の最高値</u> の5 - 10ティック上に逆指し値で売り注文をおく。	<再建玉> 前回のロスカットレベルで、再建玉を行なう。		<u>当日の高値</u> の1ティック上。	前回の最高値をつけた日と価格をマークしてラインを引いておく。ロスカットポイントである当日高値もマークしておくが良い。
技法名	発明者	エントリーセットアップ	エントリーセットアップ	エントリーセットアップ	利食いポイント	ロスカットポイント	備考
ターゲットスーププラスワン	ローレンス・コナーズ	過去20日間の最高値をつける。最高値は最低でも3営業日以前のもの。	新高値を付けた日の終値(1日目)は前回20日間の最高値と同じかそれ以上であること。	翌日(2日目) <u>前回の最高値</u> を下回った時点で建玉する(寄付となるケースも多い)		<u>前日の高値</u> の1ティック上。	前回の最高値をつけた日と価格、ならびに前日の最高値をマークしてラインを引いておく。

80-20s (注2)	ジョージ・ダグラス・テイラー、ローレンス・コナーズ	前日、レンジの20%以下の部分で寄付、レンジの80%以上で引ける。	当日、前日の高値から少なくとも5 - 15ティック上で取り引きされる。	前日の高値で逆指し値売りを仕掛ける	大引け。日計りのみ有効。	当日の最高値。	WR7, WR4等もチェックしておく。勝率が上がる。統計に基づく日計りオンリーの技法。
ADXギャップ- (OOPS+ADX)	ローレンス・コナーズ	12期間のADXと28期間の+DI/-DIを利用。-DIが+DIを上回っていること	ADXは30以上、ギャップ・オープン後、前日の高値に逆指し売り注文		ベイルアウト	当日の高値	ローレンス・コナーズは必ずしもギャップオープンを条件にしない場合もある。その場合損切りは当日の高値。取引回数が減り、特定マーケットに集中している人には向かない。
鞭打ち	ローレンス・コナーズ	ギャップオープン。	引けは寄付より安く、値幅の50%以下で引けること	大引け成り行き注文。		翌日上寄り損切り。	OOPSシグナルの変形である。OOPSは前日の高値にまで価格が下がる必要があったが、その部分を排除している。OOPS同様売りサイド優位である。
スリーディ・アンフィールド・ギャップ・リバーサル	ローレンス・コナーズ	ギャップオープンし、窓を開けたまま引ける。	次からの3営業日、ギャップを付けた日の1ポイント下に逆指し売り注文。			窓を開けた日の高値	OOPSの方がベターである。ギャップがサポート機能を失うのを確認出来るのは、ギャップを開けた日の前日の高値まで価格が戻った時点だからだ。ただし、3日窓埋めする反転という手法は使えるので、参入ポイントを窓を開けた前日の高値にまで引き下げれば良い。

(注1) ラリー・ウィリアムズによれば、ギャップ・オープンしたマーケットの50 - 80%、平均して66.55%のギャップは埋まる。その統計を利用した戦略である。

(注2) 値幅の90%以上で引けた足の翌日、その高値を更新する確率は68-85%であるが、終値で更新できる確率は40-53%である。ほとんどのマーケットで高値を更新できない。80%以上では更に上昇確率が下がる。高値更新確率は62-80%で、終値で更新できる確率は39-50%である。WR7であった場合、更に利益が期待できる。